

桜野地域子ども館 桜野あそべえ【武蔵野市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	292日/年間	
参加人数	113人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	

■主な活動場所

桜野小学校内の専用教室、校庭、図書室、体育館など

■開催日

月～金曜日 13:00～17:00

土曜日・長期休業中 9:00～17:00

■参加対象

桜野小学校在籍児童とその学区に居住する小学生

■申込み手続き

あそべえ登録票を提出

活動紹介

- 教室開放、校庭開放、図書室開放に複数の職員を配置し、児童の自主的な遊びのサポートと安全確保を行っている。
- 学校内の学童クラブとは、児童が教室や校庭で一緒に遊んだり、お互いのイベントに参加したり、職員の会議を合同で行うなど、日常的に連携して活動している。
- あそべえと学童クラブを統括する館長が、学校や地域との連絡調整や職員のマネジメントを担っている。
- 各種イベント（29年度開催例）
プラネタリウム、けん玉ワークショップ、お茶会、ソープアレンジメント等



↑イベント：プラネタリウムの様子

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 運営体制 平成29年度より、公益財団法人武蔵野市子ども協会に事業の運営を委託して実施。また、館長、地域団体、PTA、校長・副校長等で構成した「地域子ども館推進会議」を開催し、地域の力を活かした運営を行っている。
- 採用・募集 館長（正規職員）、チーフ（嘱託職員）、補助職員（臨時職員）を子ども協会で採用。館長は市の推薦に基づき選考。他の職員は原則公募。
- 配置人数 毎日の開放につき、館長1名、チーフ1名、教室開放補助職員2名、校庭開放補助職員2名、図書室開放補助職員1名（水・土）を配置。

武蔵野市の取組

- 全教室数 12教室
- 事業目的 小学生の放課後施策の一つとして、保護者を含めた地域社会が一体となって子どもを育てるという考えに基づき、学校施設を利用した放課後等の子どもの居場所作りや異年齢児童の交流を目的としている。
- 事業の成果等 地域で子どもを見守り育てるという基本理念のもとで、放課後等に児童が安心して過ごせる自由来所型の施設として多数の小学生に利用されている。